

平成 25 年 12 月 10 日

地域果樹振興対策会議 御中

広島県果樹振興対策会議

## かんきつ類寒害緊急対策について（第 1 報）

広島地方気象台発表の週間天気予報によると、**12月14日（土）に広島県南部の最低気温が0℃以下**になることが予想されています。

向こう 1 週間は、最低気温が平年より低くなる日が多くなる見込みです。

生産者に対し、次の事項について指導を徹底してください。

- 1 ネーブル・はるみ・ポンカン・八朔・レモン（規格に達したものは採収を早める（特に外成り果）。  
採収したものは仕分けて貯蔵する。
- 2 樹上越冬用の果実は凍結防止対策を徹底する。  
なお、凍結防止対策には下記の方法が有効である。  
①寒冷紗等による樹冠の被覆  
②果実への袋かけ
- 3 予措・貯蔵中の果実については、冷気の進入を防ぎ、低温に遭わないように管理する。  
室温が 2℃以下になる時は、毛布の被覆や暖房機等により保温する。
- 4 かん水施設については、機器の破損防止のため、水抜きなどを行う。

※また広島地方気象台によると、向こう 3 か月は平年に比べ気温が低くなる可能性が高い見込みです。今回の低温以降も引き続き警戒をお願いいたします。